第 4 回神戸広島放射線治療研究交流会のご報告

2026 年 9 月 19 日に第 4 回神戸広島放射線治療研究交流会が開催されました。放射線治療医の先生方も交えた研究交流会となり 2 年が経過しました。今回から佐々木教授のお声掛けもあり、久留米大学の先生方にも参加いただけることになりました。淡河教授をはじめ宮田先生や物理士さんにもご参加いただき盛会になったと感じております。

神戸大学からは、私から「3 次元切削加工技術を用いた頭頸部放射線治療用新規固定具の開発」に関して発表させていただき、石田知也先生から「CBCT 画像上の AI 輪郭が画像照合時の観察者間変動に与える影響」に関してご報告いただきました。医師からの報告として、妹尾悟史先生に「子宮頸癌の放射線治療に伴う免疫抑制 ― リンパ球減少から考える治療最適化 ―」という演題でご発表いただきました。また広島大学からはフィルム QA に関する臨床的課題を解決する内容や共同開発されている商用 AI ベース自動輪郭描出ソフトウェアの評価など多岐にわたる内容でそれぞれの演題に関して熱い議論が行われました。医師の先生方からも活発な質疑が行われ大変有意義な議論ができたと思います。

次回は、2027 年 3 月ごろに久留米大学での開催を予定しております。各大学に良い刺激を受けながら各々の研究を加速させ世界に発信できるようになることを期待してご報告とさせていただきます。



全体での集合写真

文責・椋本